

第4回 藤井寺市地域公共交通会議 会議録

日 程：令和7年3月28日（金）10時00分～11時30分

場 所：藤井寺市役所 3階 305会議室

出席者：別紙参照

会議議題：1. 開会

2. 委員紹介

3. 議題 （1）前回交通会議議事の振り返り

（2）実証運行計画案の検討

（3）今後のスケジュール案

4. 閉会

傍聴者：4人

議事内容

1. 開会

2. 委員紹介

- ・配布資料の確認

- ・代理出席者のみ報告し、委員18名の内15名の出席により本委員会の成立を報告。

3. 議題

議事（1）前回交通会議議事の振り返り

＜事務局より説明＞

猪井会長

○前回は「セダン型、路線不定期での運行」まで決まった。

○申請時には、どこを通るかという路線と、どこに停留所を置くかが必要になる。細かなダイヤも決めていかなければならない。

○今回は、事務局で考えた路線案を議論いただき、運賃なども決めていきたい。

議事（2）実証運行計画案の検討

＜事務局より説明＞

猪井会長

○今回決めなければならないのは、p6 運行ルートをどうするか、p11, p12 運行日や運行時間帯、運行便数は11便でいいかである。

○p17 運賃の割引制度は今後検討するが、利用方法や運行期間、p19 事業評価はどのようにするかを書いてある。

中村委員

○p4 運行形態で【路線不定期運行（デマンド型交通）】と書いているが、路線不定期とは、申請上は決められた路線を運行すること。ルートを見捨てて停留所同士を最短距離で結ぶような形で運行することを考えているならば、「区域運行」という形で整理す

るといいと思う。

○本格運行時の許可申請の段階の話なので今すぐどうこうというわけではないが、そういう形で整理した方が、申請手続きが煩雑でないと思う。

猪井会長

○事務局に確認だが、どこからでも乗れるのではなく、この路線を基本として、例えば、小山西住宅に行く予約がなければ、藤井寺駅を出てそのまま右に曲がって市役所の方に走っていく、というようなショートカットをするつもりか。

事務局

○そのとおり。「路線は決まっていて、予約時のみ運行する」ということを「路線不定期」と表現している。申請上は「区域運行」になるかと思う。「区域運行」という言葉が前に出してしまうと、ミーティングポイント方式のように、非固定ダイヤ型で路線が決まっていなくて誤解を招くことも考えられるため、こういう表現をしている。

坂部委員

○p17 割引制度に「75 歳以上」とあるが、年齢は自己申告でいいのか。

事務局

○割引においては、事前に利用者情報として電話番号や住所・名前などを確認し登録したいと考えている。

○タクシーでは手帳などで確認していると思うが、どこまで求めるかは事業者との調整事項になる。

中村委員

○柏原駅を追加しているが、柏原市民も使えるのか。

事務局

○誰でも利用できるものとして考えている。

中村委員

○柏原市への乗り入れについて、関係機関との調整はしているのか。

事務局

○他の停留所もそうだが、関係者との調整がこれから必要であり、場合によっては停留所をずらすことも考えられる。

小森委員

○運賃だが、実証運行は 200 円でいいとしても、本格運行を目指すのであれば、市の負担が大きいと持続するのが難しくなる。どれくらいの予算を見込んで、この 200 円を設定しているのか。

事務局

○予算は約 900 万を計上している。

小森委員

○運行の時間だが、往復でずっと行った場合、終点に着いて 10 分くらいで次の便が出ると思う。その繰り返しだが、乗務員の休憩の時間が必要になるので、1 台ではたぶん難しい。2 台必要になると思うが。

事務局

○予約時点で運行本数は確認できるので、乗務員の乗車時間も管理できると考えている。

猪井会長

○4時間以上連続で運転する場合は30分の休憩を取らないといけない。このパターンのダイヤでやると、どこかで休憩を取らないといけないという指摘だ。その辺も含めて11便という設定を減らした方がいいということか。

小森委員

○減らした方がいいというよりも、全便動いたとして、少なくとも1ルートあたり2台はいるとしておいてほしい。

上田委員

○割引制度だが、障がい者手帳を持っている人ははっきり分かるが、75歳以上というのは分かりにくいと思う。ドライバーとのトラブル防止のため、何か証明するものがあった方が安心すると思う。

猪井会長

○割引引くとき時だけ事前に割引券みたいなものを取得してもらおう。事業者がチェックするのは大変だろうから、市側で75歳以上だとチェックして証明書みたいなものを作るのはいかがでしょうか、というアドバイスだ。

寺井委員

○利用者は運行ダイヤを見て「いつ・どこで・何時の便で」と予約するが、予約がない所を飛ばすと時間にずれが発生すると思う。それについてはどう考えているのか。

事務局

○乗合者がいる場合は、その区間は時刻通りに進んでいくことになる。ショートカットできるのは、乗合者がいないときだけだ。

猪井会長

○時間調整場所は、今のところは起終点となっている藤井寺駅や藤井寺市役所、松水苑だが、実際には、万代とか体育館の駐車場などで調整させてもらうこともあるかと思う。その辺は実際に走り始めてから、どこで調整しないといけないか考えていかないといけないと思う。

○現状の計画案ではp6のルートを決めてからそれぞれの項目を決めないといけないので、まずは「東部西部運行にするか」「北部南部運行にするか」を議論したいと思う。

麻田委員

○両案そのままでいいのではないか。独占で乗る、もしくは乗り合わせがあったとしても、実際の走りはこの全部を走るわけではない。利用者の目的地に合わせた走り方をするので、それに対してのコースの融通性という意味では、私はこの案全部ほしいと思う。

猪井会長

○事務局から説明があったが、このルートを1便で全部走ってみると1時間以上かかる。1時間1便で運行したいので東西か南北に分けようと考えた。おっしゃる通り全部は走らないにしても、事務局としては1時間内に収めたいと思っている。

事務局

○委員の話だと、ミーティングポイント方式・非固定ダイヤ型になるかと思う。今回は「路線を最初から設定し、走るコースを決めた上で、予約時のみ走る」という運行と

したいので2つある案のどちらかでと考えている。

猪井会長

○東西か南北か、事務局はこれらの良し悪しはどのように考えているのか。

事務局

○東部地域で「目的地としてどこに行きたいか」を聞くと西側の「イオン」という話が多かったので、東西を繋ぐ方がいいという思いはあり、北部ルート南部ルートにする方がいいのかと思っている。

○p7 東部ルートの順路を掲載しているが、本当は起終点を分けたいが、いいポイントが見つからなかったので市役所を起終点にしており、無駄のあるルートになっているかなと思っている。

小森委員

○実証運行なので、東西と南北をうまく組み合わせて1回やってみるのもありかなと思う。住民がどちらのルートをたくさん利用するかというのも含めて考えるのもありかなと思う。

猪井会長

○両方やると、どこかのタイミングで切り替えないといけない。今のところ実証運行が6ヶ月間だが、その間に3ヶ月ずつやるのはできなくはないが、利用者が混乱すると思うので、やはりどちらかを選んだ方がいいと思う。午前午後で走らせ方を変えるという方法もあると思うが、それも難しいと思う。

○ご指摘のあった200円について。評価指標が今のところ利用者数になっている。行政負担が裏にあって、そこをクリアした上でのp19の評価になっているという前提を置いておかないと、「料金を無料にして利用者が10人を超えたら続けられるではないか」となってしまう。今のバスに変わって「利用しやすいもの、多く利用してもらえるものをこの新しいサービスで目指していこう」ということが実証運行の明示されていない目的なので、持続していこうと思うと料金的なところも満たさなければならないということは次の段階なのかなと思う。

谷口委員

○前の会議では道明寺が抜けていたが、行くようになっている。道明寺の人は買い物でイオンに行く人が多いので良かったと思う。

○聴覚障がい者でも手話ができる人とできない人がいるので、予約するのにどうかなと思っている。

○「こういう案が出ているけれど、どうか」というアンケートを身体障がい者の方から取って、話し合いをしようと思っている。

猪井会長

○事務局に聞くが、予約を受ける時に聴覚障がいの方はどうするのか。FAXやメールなど、電話以外の対応をするのか。

事務局

○基本的には電話予約だが、前回も意見をいただいております、課題の一つと考えている。

○予約の受付は、運行事業者にお願いできるのか。できない場合は、市で受け付けしなければいけないと考えている。

○予約方法については、身体障がい者の方からアンケートを取られるとの事なので、とりまとめて連絡いただければよりよいものになると思う。

猪井会長

○社協や障がい者団体とコラボして、障がい者からの予約を受け付けて、まとめて電話予約してもらえようをお願いすることも考えるといいかもしれない。

上田委員

○予約の方法で LINE というのはよくあるが、選択肢の中に LINE は入っていないのか。

事務局

○予約受付を事業者にお願いできるとなった場合、そこまで対応できるかどうかがある。実証運行しながら検討していきたい。

猪井会長

○最初の走り出しは電話予約でも、LINE 予約も検討として排除しないでほしい。

寺田委員

○運行ルートだが、渋滞を考慮した時に、どちらの方が定時制を確保できるのかを考えてもいいのではないかな。

事務局

○渋滞が想定される幹線道路としては南北に 170 号線、東西に堺大和高田線が考えられる。

○どちらの案も幹線道路は通らないといけませんが、東部西部ルートの方が幹線道路を多く通るような路線設定になっているので、北部南部ルートの方がいいかと思う。

水井委員

○p18 住民周知について。住居側というよりは目的地、買い物であればイオンや万代だが、そこでの PR について商業施設の人たちとも話をしたらいいのではないかな。

事務局

○停留所について地権者と協議を進めていかないといけないので、イオンや万代を含め、関係者と話をしていく。その中で PR も合わせてやっていけるようお願いをしていきたい。

山脇委員

○松水苑が道明寺の市民病院跡地に移るような話を聞いたが、どうなるのか。

事務局

○時期的にはまだまだ先と聞いている。

○ルートや運行形態も状況によって変えることも考えているので、実証運行の中で適宜対応していきたい。

猪井会長

○「北部南部で走らせてみる。少なくとも 6 ヶ月やってみて、おかしければ直していく」ということでよろしいか。

・全員了承

猪井会長

- p9, p10 については、これから地先をお願いしていくが、動く可能性がある。
- p11 運行日と運行時間帯。通勤とかには少し厳しい、通学に使うわけではない、先ほどの法を守ろうとしたら休憩を入れなければいけないなどで 10 便にする可能性はあるが、「年末年始を除いた月曜から日曜」「7 時から 17 時まで」「11 便」ということでよろしいか。

・全員了承

猪井会長

- p15, p16 の時刻表はイメージだが、病院の送迎バス等と繋がるように考える。
- p17 運賃は 200 円。割引制度は、小人割引、障がい者割引、高齢者割引などを考えている。乗り継ぎ割引は、これからやり方も含めて検討するという説明である。

事務局

- デマンド同士の割引については、市の事業なので調整は可能。
- 路線バスの近鉄バスとの調整は、これからの話だが、今言えることがあれば教えてもらいたい。

寺井委員

- 乗務員は、バス停車中とは言え、次の発車に備えてバスの周りに歩行者や自転車がいなかったかを注視しないといけない。車内では、停まっている間にお客様が席を移動したりもする。そういったことに神経を集中しているので、その間に別の作業をさせるのは難しいというのが事実だが、バスの利用促進という意味でもやっているという側面もあるので、できる限り協力したい。

猪井会長

- 料金と割引についても、これでよろしいか。

・全員了承

猪井会長

- p18 で重要なのは、「電話予約は前日まで」「公共交通機関で移動可能な停留所間の利用は不可」というところである。
- 一番重要なのは、こういう使い方ができますと住民周知していくことだ。予約を市がやるとしたら、「こういう使い方してください」「それなら近鉄バスが走っているので、近鉄バスに乗ってください」いうお願いができる。デマンドと路線バス、デマンドと病院送迎バスを組み合わせるとかなり行ける所がある。事業者に要件を出す時にどこまでお願いできるかということも含めて、今後の検討が必要である。
- 「事前予約は電話とし、LINE 予約は実証運行してから考える。考えることは排除しない」「利用の前日までに予約」「公共交通機関で移動可能な停留所間の利用はできない」「実証運行は今年の 10 月から来年 3 月までの 6 ヶ月間。場合によっては延長するかもしれない」ということについては、これでよろしいか。

・全員了承

猪井会長

- p19 事業評価について。まずは今回の事業の目的を「利用者がどれだけ出てくるか」にしたいので、「10 人/日以上」と「利用者の満足度」を基準にしている。
- どこかでアンケートをするのか。

事務局

- 実証運行中に利用者アンケートをやりたいと思っている。
- 利用者人数は一日 10 人で想定している。

猪井会長

- 数字的には、10 人以上というのはクリアしてほしい部分である。「ここをクリアしなかったらデマンドとしてやるかどうかをもう 1 回考えないといけない」という基準として設定しておきたいところである。

近藤委員

- 利用者満足度の捉え方でよくやるのは 5 段階評価で、「満足・やや満足・普通・やや不満・不満」という評価のうちの「満足とやや満足を合わせて 60%を達成で満たしたと考える」など、設定を詳細に決めた方が後で揺れないと思う。
- 60%の設定の考え方だが、たぶん「半数以上の方が満足している」というところで「60」という数字を設定しているかと思うが、そういう考え方は、いざ評価する時に問われてくると思われるので、これからの議論の中で決めてくといいかと思う。

事務局

- 参考到他市の事例をいろいろ見てみたが、どうしたものか悩ましいところ。まだ検討中の段階で示しているので、この会議の中で詳細は決めていきたいと思う。

猪井会長

- 「満足している」が半数を超えない、すなわち「渋々使っている人が半数を超えるような交通で、利用者数が 10 人を満たしていてもどうなのか」ということだと思うので、少なくとも半数以上の人が「満足」と答えてくれるような交通にしていきたい。

議事（3）今後のスケジュール案

＜事務局より説明＞

猪井会長

- 皆様と議論してかなり決まってきたので、4 月の会議はなしとする。パブリックコメントを 5 月初旬から行い、意見をまとめて、下旬に皆様に集まっていただき、決定案とした上で、事業者選定をかけたいというところ。
- 今回は「北部南部でやる」ということが決まった。「障がい者の方からの予約の方法は考えないといけない」という意見もいただいた。停留所の協議によっては、位置を変えないといけない所もあるなど、これから要検討の部分もある。
- 全体像について、このような計画案でより詳細に検討して、パブリックコメントを行うことについて異議はないか。

・全員了承

事務局

- 他市のデマンド交通に乗ってみたので報告する。
- 事業者側での予約だった。向こうからの問いかけに対して「乗りたい便と停留所を答える」と流れが決まっていたので、電話予約での煩わしさは感じなかった。
- 10 分前にはタクシーが来ており、他に乗り合いはなく、予定時刻よりも早く出発することの確認も丁寧にしてくれた。「定刻まで待つべきものではないのですか」と聞いたら、「ご都合がよければ早期に発車させていただきます。待っても構いませんが」とのことだったので、出発してもらった。
- 他に予約がなかったので、ショートカットしたルートで、目的の場所に円滑に行けた。
- 「特別トラブルでどうこうというものありません」「30 分前に『こういう予約があるから配車できますか』と連絡があってここまで来ました」と言っていた。
- 円滑にやれている話を聞いたので、この運行事業もスムーズにいけるのかなという思いを持った。
- 本日意見のあった「電話が難しい人の予約」については、その部分を少しでもカバーできれば、より良いものにできると思う。

猪井会長

- 皆様のご協力を得て案もでき、10 月の実証運行へ向けての大変重要な回になったと思う。実証運行中も皆様と協力してさらに良いものにしていくことが大事だと思うので、継続的にご協力をお願いしたい。

4. 閉会